

ロータリー財団ボックス：

刈 岡 茂 君 次年度国際奉仕委員会で一年間交換学生受入れ体制が必要となりました。皆様より今から準備をお願いしたいと思います。受けいれてもよい家庭がありましたら今からお申し出下さい。

久 保 博 君

早川 龍 雄 君 5 番テーブルに財団BOXと米山BOXがありましたが、先週刈岡さんに約束したので今回財団BOXに一口入れさせてもらいました。(4/18例会で頂いた物です)

地区協議会参加報告会：

山崎次年度会長

13、14日と行われた地区協議会の報告をさせていただきます。

13日は会長、幹事、ロータリー財団、米山奨学の各委員長と地区役員の高橋さんが出席いたしました。場所は柏崎のメトロポリタン松島で13時登録受付、13時45分から高木貞一郎（館林）ガバナーの点鐘で会長、幹事会が始まり、14時から財団、米山セミナー登録受付。15時15分からロータリー財団セミナーがロータリー財団委員長 福地利明（新潟）さんの講演で始まり、16時30分から米山奨学会セミナーが、講師米山奨学委員長 鳥居邦夫（長岡）さんの講演で始まりましたが、時間を15分位残して終わりましたので、閉講式、懇親会も時間を繰り上げ18時頃には無事終了いたしました。三条、南クラブは全員宿泊でしたが、北クラブは高橋地区委員を残して全員三条に帰って来ました。内容はペットの時とはほぼ同じ内容でしたので省略させていただきます。

14日は09時に市役所前に集合し、三クラブ合同で柏崎の新潟産業大学に貸し切りバスで向かいました。09時30分登録受付、10時40分から高木貞一郎（館林）ガバナーの点鐘で全体会議が始まり、昼食を挟み12時40分から第一分科会から第九分科会に別れて分科会が開催されました。私が出席したのは会長、地区拡大部会でしたが、カウンセラー 高木貞一郎ガバナー（館林） 宮川糧平ガバナーエレクト（柏崎東） 広岡豊作地区拡大委員長（三条）大森幸一地区拡大委員（分水）の話で始まり、質疑では会員数の減少が質疑の大半で、中にはライオンズクラブにかき回されてしまっていて困っているなど、本題から外れた質問などもありましたが、各クラブとも会員の減少をくい止めるのに困窮している様子をはっきりうかがわれました。特に都市部においては新潟、長岡などが顕著に会員数の減少が現れているようです。三条の他クラブでも会員数の停滞を招いているようですが、我が北クラブも停滞もようですが、私年度においては、一人でも会員を増やして行かないとクラブの財政状態の改善を計ることが出来ませんので、皆さんの協力の元で会員拡大を計って行くべく努力致します。

国際奉仕委員会では我が北クラブで一年交換学生の受け入れを臨時理事会で承認されており、今回の地区協議会で受け入れの準備をするようにとの話がありました。皆様方の家庭で受け入

れていただけるよう極力努力していただきたいと思います。一年交換学生は夏季交換学生と違い勉強に来日する訳ですので、言葉は相手が日本語を覚えてくれますし、日中は学校に行っていてくれますし、遊び相手を積極的にする必要もなく、同年代の子供さんがいなくても子供が一人増えた位の感覚で対応出来るのではないのでしょうか。子供さんが学校に行って家庭が寂しくなっている家庭などは最も受け入れやすいのではないのでしょうか。家庭に帰り奥さんと相談して積極的に受け入れを検討して見ていただきたいと切にお願い申し上げます。

外山次年度幹事

この会議に出るまでは、予算についてよく理解していませんでしたが、クラブ運営には事務員さんの給与や家賃等の固定費があり、他の経費とともにすべての経費は年会費からしか出ないけとが分かりました。

つまり、会員が減ると会費を上げないことにはクラブ運営に支障があり、クラブ運営をうまく行なうには1にも2にも会員増強だと知りました。竹内さんのベースアップのためにも会員増強を宜しくお願いします。

刈岡国際奉仕委員長

青少年交換プログラムの件

2000年から2001年の長期交換学生の受け入れクラブとなりました。（群馬県5名、新潟県2名）

①具体的には現在のところ事務局より連絡なし。

②年間2560地区国際奉仕事務局より100万円支給あり。〔授業料40万円、本人へこずかい1.5万円（月）、食費3.5万円（月）〕

③子供たちにとっては成長期に世界を体験。2度とないチャンスなので、担当クラブの思いやりで一生の宝物にしてあげていただきたい。

④担当クラブでは、気を使わない生活の上での対応を願いたい。

⑤受入れ家庭のご家族の負担を担当クラブ全員で補う対応策を委員会（交換学生）でマニュアルづくり。

中條R財団副委員長

第1日目 財団セミナー福地利明氏（新潟R・C）

報告

1. 第2560地区の目標 宮川年度の寄付金
目標 25万500ドル 1人当たり97ドル
2. R・I財団の歴史と今日迄ロータリー友5月号の27ページに掲載されている。
3. ロータリー財団月間の11月には卓話を財団にちなんで行います。

第2日目 第8分科会

報告